

PL-CF200

取扱説明書

PL-CF200 (CF カードユニット) は(株)デジタル製パネルコンピュータ (以下 PL と称します) 用の CF カードユニットです。

対応機種 : PL-5900 シリーズ、PL-5910 シリーズ、PL-X900 シリーズ、
PL-X920 シリーズ、PL-X930 シリーズ

下記のほか、本書に記載の商品名は、各社の商標・登録商標です。

Pro-face : (株)デジタル

MS-DOS, Windows : 米国 Microsoft 社

安全に関する使用上の注意



- PL への取り付け時は感電の危険性がありますので、PL に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- PL-CF200 は改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- PL-CF200 を取り付ける際には、本書の「3.PL-CF200 の着脱」をよく読んで、正しく取り付けてください。

故障しないために

- PL-CF200 は精密機器ですので、衝撃を与えないでください。
- PL-CF200 は電源仕様が 5V の CF カード専用ユニットです。電源仕様が 5V 以外の CF カードは使用しないでください。
- PL-CF200 に水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。
- 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。

- ・ 修理や改造を行わないでください。
- ・ 腐食性ガスの発生する環境では使用しないでください。
- ・ ファイル破損を防ぐため、必ず正しい手順でOSを終了してからコンピュータの電源を切るようにしてください。

廃棄時の注意事項

- ・ 製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

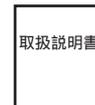
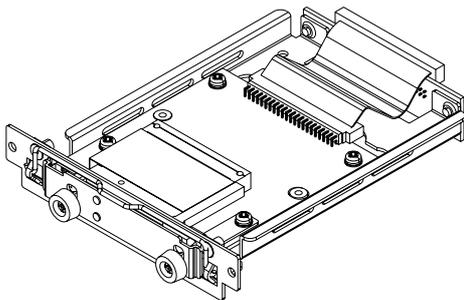
梱包内容

梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

PL-CF200 本体

取扱説明書 1枚（本書）

PL-CF200 取扱説明書



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

1 ハードウェア仕様

性能仕様

定格電圧	5V（PLから供給）
対応カード	CFAの規格に準拠しているCFカード （5V電源仕様のみサポート）
CFカードインターフェイス	True-IDEモード

環境仕様

使用周囲温度	0 ~ 50
保存周囲温度	-10 ~ +60
周囲湿度	30 ~ 85%RH(結露しないこと)
じんあい	0.1mg/m ³ 以下 (導電性じんあいがないこと)
腐食性ガス	腐食性ガスがないこと
耐振動性	動作時 19.6m/s ² (10 ~ 25Hz) x,y,z方向各30分

重要・環境仕様はPLに組み込んだ場合の仕様です。

外観仕様

冷却方法	自然空冷
質量	約200g(CFカードは含まない)

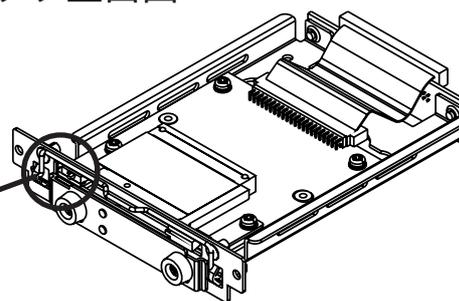
2 CFカードユニットの設定

PL-CF200では、出荷時に「マスター/スレーブ切替スイッチ」を「スレーブ設定」にしています。PL-CF200をマスタードライブとしてご使用の場合は、下図を参照し、「マスター/スレーブ切替スイッチ」を切り替えてください。

- 重要**・必ずPLの電源を切ってから切替を行ってください。
- ・PL-X930シリーズでは本ユニット(PL-CF200)をマスタとして設定してからご使用ください。
 - ・(株)デジタル製CD-ROMドライブユニット「PSS-CD01」とPL-X930シリーズの拡張スロット1に取り付けた本ユニット(PL-CF200)を併用する場合、必ず本ユニットをマスタとして設定してください。故障の原因になります。

<PL-CF200 本体のコネクタ正面図>

マスター/スレーブ切替スイッチ	
マスター設定	スレーブ設定
 M S	 M S 出荷時設定



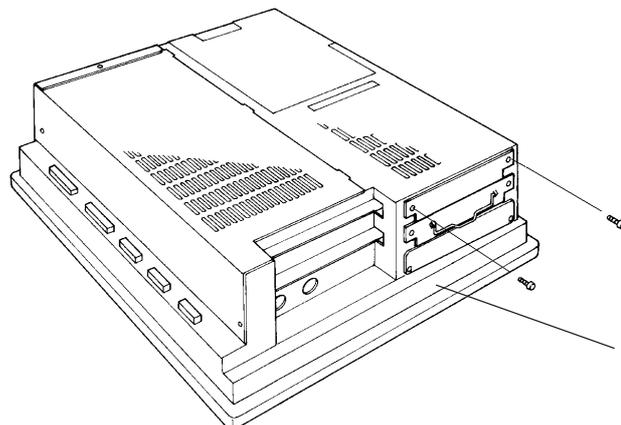
3 PL-CF200 の着脱

PL-CF200 を PL へ以下のように取り付けます。説明で使われている図は、PL-X920 シリーズですが、手順は他の機種も同様です。

警告

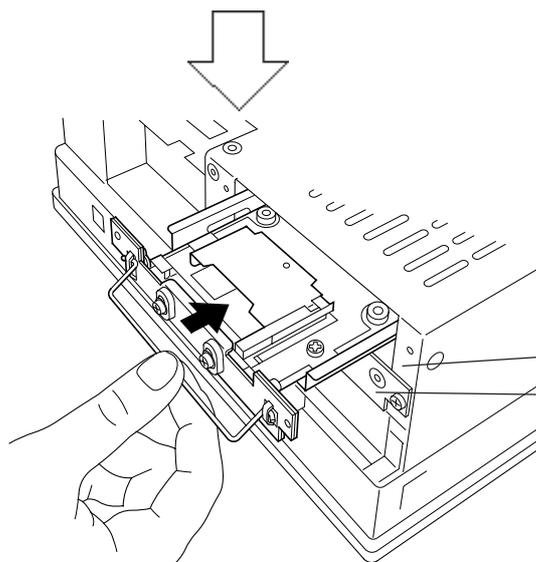
- ・ 感電の恐れがありますので、必ず PL の電源を切ってから作業を行ってください。
- ・ PL-X930 シリーズでは、画面表示が消えていても内部は通電状態（ソフト OFF 状態¹など）になっている可能性がありますので、必ず PL 背面の電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。

重要 ・ PL-CF200 は精密機器ですので、衝撃を与えないでください。



「拡張スロット1」のネジ(2カ所)を外し、ブランクパネルを取り外します。

PL 本体
(PL-X920 シリーズの場合)



PL-CF200 の取手を持ち、ガイドレールに沿うように PL に挿入し、コネクタが完全に接続されるよう差し込みます。

拡張スロット1
拡張スロット0

ネジ(2カ所)で固定します。



MEMO ・「拡張スロット0」への取り付けも、同様の手順で行います。

¹ソフトOFF状態とは、システムの起動のために必要な回路にのみ電源が供給されている状態のことを指し、Windows(R)によるシャットダウンを行った後の状態です。Windows(R)で設定するシステムスタンバイとは異なります。

4 CFカードについて

注意

CFカードについて

- ・(株)デジタル製のCFカードの使用をおすすめします。他メーカーのCFカードを使用した場合、CFカードユニットの仕様が満足されない可能性があります。
- ・必ず5V仕様のCFカードを使用してください。
- ・データが破損したり機器の故障の原因になりますので、以下のような取り扱いをしないでください。
 - ・無理に曲げる
 - ・落としたり強い衝撃を与える
 - ・水に濡らす
 - ・CFカードとユニットとの接続部を直接手で触れる
 - ・分解や改造を行う

CFカードのご使用に関して

- ・CFカードを取り付ける際は、CFカードの裏表とCFカードのコネクタ位置を確認してください。取り付け向きを間違えると、データの破損、CFカード、CFカードユニットの破損の恐れがあります。
- ・PL-CF200ではCFカードはハードディスクと見なされて動作するため、通電中のCFカードの抜き差しは行わないでください。データ破損やOSが停止する恐れがあります。必ず正しい手順でOSを終了し、電源を切った状態で行ってください。
- ・CFカードにアクセス中にPLの電源を切る、またはPLのリセットをするとデータが破損する恐れがあります。必ず正しい手順でOSを終了し、電源を切ってください。

CFカードの書き換え回数の制限について

CFカードにはデータの書き換え回数に制限があります。必ず他の記録媒体にバックアップをとってください。(株)デジタル製CFカードの場合、500KバイトのDOS形式のデータの書き換えで、約30万回)

CFカードの抜き差しに関する注意事項

CFカードには表と裏があります。正しい向きをCFカードのマニュアルで確認してください。

CFカードを取り付けるとき

PLの電源を切ります。

カードのコネクタと反対の端を指で摘まみ、カードスロットに挿入、完全に接続されるように差し込みます。入りにくいときには、無理に差し込まないでください。もう一度カードの向きや方向を確かめてください。

カードを差し込むとCFカード右横のイジェクトボタンが突き出ます。突き出した部分を右に折りたたみます。

カード差込口を閉じます。カバーは2つのネジでしっかりとめます。

CFカードを取り外すとき

PLの電源を切ります。

カバーを外し、折りたたんだ状態のイジェクトボタンをまっすぐ突き出した状態に戻し、奥へ押し込みます。

出てきたCFカードを指でつまみ、ゆっくり引き抜きます。

5 ハードウェアセットアップ

重要 ・ 通常は、出荷時設定(初期設定)で使用してください。



・ 以下の全説明画面は、出荷時設定(初期設定)画面です。

・ BIOS画面はバージョンアップにより変更になる場合があります。

PL-X900シリーズの場合

PLにキーボードを接続します。

PLの電源をONします。

画面左下 "Press to Enter SETUP" のメッセージが表示されたら、[DEL]キーを押し続けます。

セットアップユーティリティが起動します。メニューより[STANDARD CMOS SETUP]画面を選択してください。次の画面が表示されます。

ROM PCI/ISA BIOS(2A5LEU1C)							
STANDARD CMOS SETUP							
AWARD SOFTWARE, INC.							
Date (mm:dd:yy): Thu, Apr 26 2001							
Time (hh:mm:ss): 14 : 50 : 3							
		CYLS.	HEADS	PRECOMP	LANDZONE	SECTORS	MODE
Drive C	:Auto(0b)	0	0	0	0	AUTO
Drive D	:Auto(0b)	0	0	0	0	AUTO
Drive A:1.44M,3.5 in.							
Video : EGA/VGA				Base Memory : 640K			
VGA_Text Mode:Normal				Extended Memory:31744K			
Halt On : All, But Keyboard				Other Memory: 384K			
				Total Memory :32768K			
ESC : Quit : Select Item PU/PD/+/- : Modify							
F1 : Help (Shift)F2 : Change Color							

Drive C/Drive D共に [Auto] が選択されているか確認してください。 [Auto] が選択されていますと起動時にハードディスクのパラメータを読み取って自動的に設定されます。 [Auto] が選択されていない場合は、 [Auto] を選択してください。出荷時の設定は [Auto] です。通常、出荷時の設定でご使用ください。

[ESC]キーを押して[SAVE&EXIT SETUP]を選択し、保存終了してください。

PL-5900/PL-5910/PL-X920 シリーズの場合

説明で使用されている BIOS 画面は PL-5900 シリーズのものですが、セットアップ手順は PL-5910/PL-X920 シリーズでも同様です。

PL にキーボードを接続します。

PL の電源を ON します。

画面左下 "Press to Enter SETUP" のメッセージが表示されたら、[DEL]キーを押し続けます。

セットアップユーティリティが起動します。

メニューより [Standard CMOS Setup]画面にて [IDE Primary Master]、または [IDE Primary Slave] を選択してください。次の画面が表示されます。

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software	
IDE Primary Master	
IDE HDD Auto-Detection	Press Enter
Item Help	
IDE Primary Master Auto	Menu Level ▶▶
Access Mode Auto	To auto-detect the HDD's size, head...on this channel
Capacity 0 MB	
Cylinder 0	
Head 0	
Precomp 0	
Landing Zone 0	
Sector 0	
:Move Enter:Select +/-/PU/PD:Value F10:Save ESC:Exit F1:General Help F5:Previous Values F6:Fail-Safe Defaults F7:Optimized Defaults	

IDE Primary Master/IDE Primary Slave共に [Auto] が選択されているか確認してください。 [Auto] が選択されていますと起動時にディスクのパラメータを読み取って自動的に設定されます。 [Auto] が選択されていない場合は、 [Auto] を選択してください。出荷時の設定は [Auto] です。通常、出荷時の設定でご使用ください。(ハードディスクと併用の場合。)

[ESC]キーを押して[Save & Exit Setup]を選択し、保存終了してください。

PL-X930 シリーズの場合

PL にキーボードを接続します。

PL の電源を ON してすぐに[F2]キーを押し続けると、セットアップユーティリティが起動します。

PL-CF200 の取り付け位置(拡張スロット 0 または 1)によって、表示される[Main]メニューの項目は以下のようになります。

- ・ 拡張スロット 0 に取り付けた場合 : [Primary Master]
- ・ 拡張スロット 1 に取り付けた場合 : [Secondary Master]

上記の項目名にカーソルをあわせて[Enter]キーを押すと、以下の画面が表示されます。

重要 ・ PL-CF200 はマスタとしてご使用ください。詳しくは、本書「2. CF カードユニットの設定」をご覧ください。

PhoenixBIOS Setup - Copyright 1985-2001 Phoenix Technologies Ltd.		
Main		
Type:	[Auto]	Item Specific Help
Total Sectors:		User = you enter
Maximum Capacity:		Parameters of hard-disk
		drive installed at this
		connection.
Multi-Sector Transfer:	[16 Sectors]	Auto = autotypes
LBA Mode Control:	[Enabled]	hard-disk drive
32 Bit I/O:	[Disabled]	installed here.
Transfer Mode:	[FPIO 4 / DMA 2]	1-39 = you select
Ultra DMA Mode:	[Mode 5]	pre-determined type of
		hard-disk drive
		installed here.
		CD-ROM = a CD-ROM drive
		is installed here.
		ATAPI Removable =
		removable disk drive is
		installed here.
F1 Help	Select Item -/+ Change Values	F9 Setup Defaults
Esc Exit	Select Menu Enter Select Sub-Menu	F10 Previous Values

[Type]に [Auto] が選択されているか確認します。

(出荷時の設定は [Auto] です。通常、出荷時の設定でご使用ください。)

[ESC]キーを押して前画面に戻ります。[Exit]メニューを選択し、[Exit Saving Changes]にカーソルをあわせて[Enter]キーを押します。システム設定が保存され、OS が起動します。

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害およびその他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒559-0031

大阪市住之江区南港東8-2-52

TEL : (06) 6613-1101 (代)

FAX : (06) 6613-5888

URL : <http://www.proface.co.jp/>